

製造業向け新人育成研修

講座のねらい

初めて製造業・製造現場に携わる新入社員等を対象に、会社に戻ってから実務にスムーズに取り組めるよう、生産管理活動の基本的な考え方や取り組み方・生産業務の内容や改善の重要性の理解・改善マインドの向上等を習得するための研修です。

研修内容は「モノづくりの仕組みと方法の基本」[基本ワード（5S、目で見える管理、リードタイム、IE など）とその内容の理解][改善・改革の取り組み方][製造業での現場業務を担うための心構え]と、製造現場で役立つ基礎知識となっており、スムーズかつ前向きに生産活動に取り組めるようにします。

講座の様子

- ・講義と演習がベースです。
- ・講義は資料とパワーポイントで説明しました。
- ・グループワークを多く取り入れているので、グループ作業を何度も行うことで、多くの意見が出ていました。
- ・グループごとにリーダーを決めて皆で意見を出し合いながらまとめていき、内容は模造紙にまとめて発表しました。
- ・年齢が近いこともあり、意見も出しやすい雰囲気でした。

参加者の声

- ・会社の研修などで教えてもらえないことまで、学ぶことができた。
- ・普段、会社で聞いていても意味がよく分かっていないまま仕事をしていたが、今回深く意味や必要な理由を知る事が出来た。
- ・仕事をする上で重要な意識の持ち方を学んだ。改善の仕方やムダがなにかを考える方法を学べた。
- ・製造業における基礎知識や標準的な取り組みを学べたので、新しい見方を持って自社の固定された考え方の改善に取り組みたいです。
- ・新人だからこそ気付くこともあると思うので、周囲を良く見てムダや改善点を見付けられたらと思います。安全第一で頑張ります。
- ・何気なくやっていた事にもちゃんと意味があると分かったので、自分のやっている事をしっかり考えて仕事をしていきたいと思いました。
- ・全員で意見を言ったり、協力したりすることがとても参考になりました。

成果と課題

成果 日本における「モノづくり」の重要性、必要性を講義の中で伝えることができた。

製造業に就職した者同士の交流の場にもなった。

企業からも、新人に「製造業とは何か」「製造業の基本ワード」等を学んでから現場に就かせたいとの思いもあり、年々受講者が増えている。

課題 受講者が増えてきているなかで、1教室の人数を20名以内におさえ受講者全員が意見を述べられる場を提供していきたい。